

平成 25 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 濱田 矩男
(コード番号 8129 東証第一部)
問合せ先 執行役員コーポレート・コミュニケーション室長
兼 経営企画室長 加藤 勝哉
(電話 03-5259-9520)

平成 25 年 3 月期業績結果について

当連結会計年度における医療用医薬品市場におきましては、診療報酬と薬価の改定があり、平均 6.0%の薬価引下げ(長期収載品の追加引下げを含めると平均6.25%)が行われました。また、一般名処方薬の推進等で、ジェネリック医薬品の使用が促進される等、医療費抑制策も浸透されつつあります。一方、高齢化の進展、新薬やオーファンドラッグ等の販売のプラス要因もあり、緩やかながら安定成長を続けており、前期比1.9%(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推計)の伸長となりました。当社医薬品卸売事業においては、顧客支援システムを基軸とする提案型営業のビジネスモデルを継続して推進し、市場の拡大が期待される新製品の販売との「両立の戦略」を展開することにより、市場平均以上の伸長を達成することができました。

このような状況において、当社グループの当連結会計年度の売上高は 1,140,364 百万円で前期比 102.9%となりました。医薬品卸売事業については、製品個々の価値に応じた価格体系に基づく適正利益を確保するための価格ロックシステムを厳格に運用し、総価取引・薬価差問題等の是正や未妥結・仮納入の課題に取り組みました。また、フィービジネスの拡大と経費削減にもグループ全社で取り組みました。調剤薬局事業については、新規出店等による順調な拡大はありましたが、新規出店費用と薬剤師採用による経費増もありました。その結果、営業利益は 15,877 百万円で、前期比 112.8%となり、対売上比は 1.4%と前期比 0.1%の改善となりました。また、経常利益は 19,585 百万円で、前期比 110.5%、当期純利益は 11,526 百万円で、前期比 107.1%となりました。以上のとおり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全項目において、前期に引き続き過去最高値となりました。

なお、本日、お知らせ致しました「表示方法の変更に関するお知らせ」にありますとおり、当期まで「営業外費用」の区分に表示しておりました「仮払消費税の未控除損失(控除対象外消費税等)」につきましては、次期より「販売費及び一般管理費」の区分に表示する方法に変更致します。

この結果、次期の通期業績予想については、販売費及び一般管理費が2,800百万円増加し、営業利益が同額減少して表示されております。変更前の方法によった場合、通期業績予想の営業利益は 17,500百万円(実質前期比10.2%増)と表示されます。経常利益、当期純利益に与える影響はありません。

1. 平成 25 年 3 月期業績（連結）

(1) 前期比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 25 年 3 月期	1,140,364	15,877	19,585	11,526
平成 24 年 3 月期	1,108,089	14,073	17,732	10,766
前期比増減額	32,275	1,804	1,853	759
前期比(%)	102.9	112.8	110.5	107.1

(2) 通期業績予想比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 25 年 3 月期	1,140,364	15,877	19,585	11,526
通期業績予想	1,140,000	15,700	18,400	10,400
通期業績予想比(%)	100.0	101.1	106.4	110.8

(3) 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率の前期比

単位：%

連結	売上総利益率	販管費率	営業利益率	経常利益率
平成 25 年 3 月期	8.9	7.6	1.4	1.7
平成 24 年 3 月期	8.8	7.5	1.3	1.6
前期比	0.1	0.1	0.1	0.1

2. 平成 26 年 3 月期通期業績予想

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成26年3月期	1,181,000	14,700	20,400	11,600	164.35円
平成25年3月期	1,140,364	15,877	19,585	11,526	159.21円
増減額	40,635	△1,177	814	73	5.14円
増減率(%)	3.6	△7.4	4.2	0.6	3.2

以 上